

YMCA健康福祉専門学校

## 健康福祉ニュース

What's New!

・野外キャンプ実習始まる

・ボランティア演奏会報告

### 富士山YMCAと「ありがとう」

YMCA健康福祉専門学校では、毎年「YMCA野外教育キャンプ実習」が行われます。今年は、静岡県富士山麓の朝霧高原に与えられた私たちの富士山YMCAグローバル・エコ・ヴィレッジでの実施となりました。この野外教育キャンプの全体テーマは、「Caring(互いに配慮すること)、Honesty(互いに誠実であること)、Responsibility(互いに責任を持ち合うこと)、Respect(互いに尊敬しあうこと)」とし、学生キャンプ委員を中心として準備がすすめられます。チームビルディングをプログラムの基調として、グループで知恵を出し合い、支え合い、協働を通して課題解決していく過程で自己と向き合い、他者を受け入れることができるようになることを期待しています。また、役割責任をひとり一人がしっかりと果たし、互いに配慮し合うことが必要であることを実感できるようになってほしいとYMCAでは考えています。今年は、あの広大な富士山を望むYMCAグローバル・エコ・ヴィレッジでの作業ワークも課題に含まれました。少し内容を紹介しましょう。



初日の課題は、基礎スキルトレーニングのロープワークとかまど作り、ブルーシートによるグループテント作りと野外調理です。2日間は手作りテント泊、全食野外調理なので、快適に過ごすには、基礎をしっかり学ぶ必要があります。雨天時にテント崩壊、寝袋まで濡らし、風邪をひいたり、芯の残るご飯、スープのようなカレーなどにならないためにも…。2日目の課題は、課題解決ゲームです。グループ毎に知恵を絞り、自分の意見をグループに提案したり、苦手な仲間への配慮も必要になります。午後には参加している学生自身が「強い口調の人」や「特定の人」だけでなく、互いに参加者の声に耳を傾けることができるようになっていくのが、手に取るようにわかります。3日目の課題は、富士山YMCA施設整備です。いつまでも富士山

YMCAに残るものを作りたいと、福祉スポーツ科は「グリーンチャペル」作りに取り組みました。太さ40cm、長さ5mの大きな丸太を10本、富士山に向かって並べ、チャペルの椅子を作りました。介護福祉科は直径2mの「ファイアプレース」と「グリーンチャペルへの階段」「牛舎前小さな階段」を作りました。どれも本格的なものです。毎年、富士山YMCAを訪れる子どもたちにも長く使ってもらえることと思います。来週の健康福祉科は「入り口看板」を予定しています。2mの杉板を焼いて焼き板とし、オイルロープで文字を作ります。完成したものは大変すばらしいものです。しかし、もっとすばらしいのは、作業における「学生同士と先輩リーダーの協働」です。先輩リーダーを中心に、全員が真剣そのものでした。完成した時、「富士山YMCAを創り上げる作業に加わったことが嬉しい」と、心から互いを讃えている姿には感動しました。そして最終日の課題は「撤収・美化・来たときよりも美しく！」です。自分たちに学びの機会、気づきの機会、成長の機会を与えてくれた富士山YMCAをピカピカに磨き上げました。

毎朝の集いでは、讃美歌を歌い、学生たちによる礼拝が守られ、夜には駐在スタッフによるYMCAキャンプソング、ゲーム指導、全員での振り返りの時間、係別ミーティングやキャンプ委員会、班長ミーティング、など休む間もありませんでした。そのなかで疲れている仲間を気遣う姿や、人のために自分ができていることをする学生が日増しに増えてくることを嬉しく感じました。閉村式では、先輩リーダーや各委員からの感謝の言葉があり、最後にキャンプ実行委員長のあいさつがありました。どのクラスの委員長も「みんなが支えてくれたから最後までがんばれました」と感謝の言葉がありました。学生たちの中で互いに交わされる「ありがとう」の言葉に学生たち自身の成長を強く感じます。今後このキャンプで体感したことが活かされるように互いに支え合いたいと思います。

YMCA健康福祉専門学校  
校長 小林 一郎





高齢者施設、障がい者施設、保育施設、スポーツ施設の方から、基調講演をいただきました。

## いよいよ本格的に、就職活動開始！

5月19日と、6月2日の2日にわたり、卒業年次の学生を対象とした就職ガイダンスが行われました。基調講演で、ある障がい者施設の方から「利用者さんは、ワーカーのことをとてもよく見ています。その振る舞いや対応で、怖がったり、嫌ったりしてしまう。それではよい関係になりません。障がいのあるなしにかかわらず、誠意を持って対応できる人が、施設で成長してくれています」といったお話をされていました。YMCA健康福祉専門

学校の特長のひとつに、行事やボランティアなどの活動が挙げられます。授業とは違うさまざまな活動を通して、人と関わるための大切な価値観を身につけています。就職活動は楽ではありませんが、Yでの活動、経験は強い武器になるはず。がんばれ！



模擬面接  
事前に履歴書を提出しています



バスケットボール部からの報告  
今年こそ全国大会出場！

## 校友会総会とリクルートパーティー

6月2日には2007年度YMCA健康福祉専門学校校友会総会が行われました。在校生からは1年間で校友会より援助を受け活動を行った部活の活動報告や、ボランティア参加の報告がなされました。「卒業生研究報告」として2名の方をお願いし、福祉スポーツ科の講師、越智和枝さん(2期生)からは「授業としての『転倒予防トレーニング』を地域福祉現場にどのように繋ぐか」という研究の発表がありました。その後は恒例のリクルート

パーティーです。現場で働く卒業生たちから直接、どんな仕事をしているか、どんな就職活動をしたかなど、小グループに分けてお話をうかがいます。年齢差は大きくありませんが、現場で働く先輩達はとても頼もしく、仕事を通しての学びの大きさを感じる時間となりました。



リクルートパーティーでは卒業生から仕事の話聞き、1年後の自分を想像して…

キャンプ報告は  
次号でもお伝えします！



グループテント  
富士山YMCAには素敵なキャンピングもあるんですよ。

## 福祉スポーツ科1年生、富士山Yでキャンプ

YMCA健康福祉専門学校では、6月はキャンプの季節です！第1陣として6月5日から8日まで、福祉スポーツ科の1年生が富士山YMCAにて野外キャンプ実習を行いました。YMCA健康福祉専門学校の野外キャンプでは、ブルーシートとロープを使って作ったテントで、ビバークします。1泊目の夜はあいにくの雨。多くのテントが雨でくずれてしまいました。テントが崩れた学生達は、崩れなかったテントに泊めてもらい、ギューギューづめになって朝を迎えることに…。崩れたテントは大きすぎたり、ロープの張りが弱かっ

たり、それぞれに理由があります。キャンプ委員長の「このままでは自分たちのキャンプは終われない。きちんとしたテントを作りたい！」との呼びかけにクラスは賛同。テント作りに取り組みました。2泊目の夜も雨でしたが、崩れたテントはひとつもなし！野外活動の技術だけでなく、物事に真剣に取り組むこと、協力することの大切さを考えるキャンプになりました。



# カリキュラム以外でも大活躍！

## 横浜YMCA奉仕賞受賞

YMCA健康福祉専門学校のある厚木YMCAには、地域の子どもたちが参加する「体操」「水泳」「サッカー」「野外活動」のクラスがあります。こういった活動の中で多くの学生が指導者や指導補助として活躍し、「リーダー」と呼ばれています。YMCA健康福祉専門学校ではこのような「リーダー活動」ももうひとつのカリキュラムとしてとらえ、幅広い人間関係作り、コミュニケーション能力の向上を応援しています。このたび、この1年間の指導や研修会への参加をきちんと行ってきたリーダーたちがその活動を評価され、「奉仕賞」として表彰されました。YMCA健康福祉専門学校からは、12名の学生が表彰式に出席しました。



### 【表彰された学生】

|          |                   |
|----------|-------------------|
| 森 沙織さん   | (体操/福祉スポーツ科2年)    |
| 三村 静香さん  | (体操/福祉スポーツ科2年)    |
| 半澤 明美さん  | (体操/水泳・福祉スポーツ科2年) |
| 原田 亜由美さん | (体操/福祉スポーツ科2年)    |
| 佐々木 直弥さん | (体操/福祉スポーツ科2年)    |
| 石井 正一さん  | (体操/福祉スポーツ科2年)    |
| 落合 康成さん  | (サッカー/福祉スポーツ科2年)  |
| 安東 翔太郎さん | (サッカー/福祉スポーツ科2年)  |
| 佐藤 世さん   | (サッカー/福祉スポーツ科2年)  |
| 河原崎 貴広さん | (水泳/福祉スポーツ科2年)    |
| 鈴木 菜々さん  | (水泳/福祉スポーツ科2年)    |
| 松崎 亜美さん  | (学童保育/福祉スポーツ科2年)  |

### 【推薦コメントより】

水泳クラスにおいて、持ち前の明るさとさわやかな笑顔で、子どもたちのお兄さんの存在となった。楽しさを第一に考えたプログラムは、子ども達を笑顔にしてくれた。リーダートレーニングにも積極的に参加していて、リーダーとしての向上心は誰にも負けていなかった。  
(河原崎貴広さんへのコメント)

## 高齢者施設で音楽会

6月3日(日)、厚木市内にある老人保健施設「さつきの里あつぎ」にて音楽会を行いました。「音楽療法」の授業を選択する学生のうち16名が参加し、日頃の練習の成果を発表する機会をいただきました。60名をこえる利用者の方が、車椅子などでご参加くださり、色々な想いで聴いておられました。学生たちの取り組む姿からも「練習の成果をだしたい、成功させたい」という気持ちが伝わり、暖かい、心の安らぐ音楽会となりました。学校では受身の多い学生も、表現することにより自身を持ち、次のチャレンジに大きく飛躍するきっかけとなったようです。



トーンチャイム  
練習のたびにうまくなりました



大正琴  
「いい音ねえ」と言っていました



利用者さんと一緒に  
「われは海の子」

### <感想>

とても緊張して思うように指が動きませんでした。演奏が進むにつれて落ち着いて弾くことができました。まだまだ練習不足のところもありましたが「良かったよ」と声をかけてくださったり、(感動して)泣いている方を見て、少しでも楽しんでもらえたことがうれしく思います。今回の音楽会のことを振り返り、さらに楽しいプログラムになるよう、がんばっていききたいと思います。(介護福祉科2年 牧嶋絵里さん)



リコーダー  
緊張して曲が速くなる場面も・・・



施設前で記念撮影  
これからもボランティア演奏を続けます！



## 1日に3.7人がHIVに感染している・・・これが日本の現状です

1日に3.7人がHIVに感染している・・・この現実を目の当たりにして、何を感じますか？これは小説でも遠い外国の話でもない、日本の現状です。

平成18年のHIV感染者とエイズ患者の報告は、それぞれ過去最高となりました。また、平成16年から患者・感染者を合わせると1,000人を超える状況が続いています。日本国籍男性の増加が引き続き顕著であり報告数は過去最高となっています。保健所で検査を受ける人や相談をする人も増加しています。

6月1日～7日はHIV検査普及週間でした。厚木YMCAも月に2回、HIV抗体検査のために会場をお貸ししています。決してひとつと思わずに、理解し、ともに生きることを私たちは学ばなくてはなりません。そして今、私たちにできることは何なのか、一緒に考えて見ましょう。

ご参加ください！

< かながわレッドリボンプラザ主催 >

### 夏のエイズボランティア講座

「世界がもし100人の村だったら～HIV/AIDSバージョン～」

7月17日(火) 9:00～10:30

場所: YMCA健康福祉専門学校(厚木YMCA)

「ボランティア きもちとかたち

始めるよこび、続ける楽しみ」

7月21日(土) 14:00～15:30

場所: 横浜中央YMCA

世界がもし、100人の村だったらのワークショップを交えながら、HIV/AIDSの基礎知識、世界のHIV/AIDS患者感染者等の数字をわかりやすく伝えます。HIV/AIDSを取りまく現状を体感してみよう！

「陽性者とともに」

7月21日(土) 15:50～17:20

場所: 横浜中央YMCA

詳しいお問合せは、かながわレッドリボンプラザまでどうぞ TEL: 045-662-3721 Email: kokusai@yokohama-ymca.or.jp



### YMCA健康福祉専門学校

福祉スポーツ科  
健康福祉科  
介護福祉科

〒243-0018

厚木市中町4-16-19

電話 046-223-1441

FAX 046-223-2101

Email: ymkenko@yokohama-ymca.or.jp

HP: <http://www.yokohamaymca.ac.jp/health>



小田急線本厚木駅から徒歩5分  
本厚木駅周辺にはミロードをはじめたくさんのお店もあり便利です。有名ラーメン店もありますよ！

ホームページもご覧ください  
<http://www.yokohamaymca.ac.jp/health/>

## Realize your dream!

～地域福祉をささえるのはあなたです！～

YMCAではさまざまな活動を通して次のことを学びます。

「自分のいのちとみんなのいのちを大切にすること」

「家族、地域のひとりひとりとして責任があること」

「世界と地球を見つめ、考え、行動すること」

「ボランティア精神とリーダーシップを身につけること」

「すこやかな心と体を育むこと」

そしてこれらを実現するために、次のことを大切にします。

「Caring(思いやり)」「Honesty(誠実さ)」

「Responsibility(責任感)」「Respect(尊敬心)」

YMCA健康福祉専門学校では、カリキュラムや学校行事を通じて4つの大切な価値を意識する機会を取り入れています。将来、福祉・保育・スポーツの現場で活躍する学生のみなさんに、他者への思いやりの心を持ち、相手を敬い、自分の行動に責任を持ち、誠実に取り組んでいく専門職になってほしいと願っています。